

## 世界史B

## 第1問 問7 「7」

複数の資料の情報と知識を結びつけて考察する問題で、各学力層で差がついた

B 次の資料3～5は、政体の移行期であったフランス革命期に、独裁的権力を握ったロベスピエールに関するものである。

資料3 ③ピヨ＝ヴァレンヌ(注1)(1756～1819年)の回想録

(著作権の都合により非掲載)

資料4 ルヴェ(注2)によるロベスピエールへの批判(1792年10月29日)

(著作権の都合により非掲載)

資料5 ロベスピエールの国民公会における演説(1794年2月5日)

(著作権の都合により非掲載)

問7 資料3と資料4を参考にして、ルヴェがロベスピエールを批評する際に用いたと考えられることばお～きと、資料5から読み取れる思想に基づいて、ロベスピエールを中心とするジャコバン派政権が行ったことc・dとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

ルヴェがロベスピエールを批評する際に用いたと考えられることば  
お 「神の権威による専制支配」  
か 「武力による専制支配」  
き 「世論による専制支配」

ロベスピエールを中心とするジャコバン派政権が行ったこと

- c 反革命を理由に、反対派を多数処刑した。  
d ローマ教皇と宗教協約を結び、カトリック教会と和解した。

- ① おーc    ② おーd    ③ かーc  
④ かーd    ⑤ きーc    ⑥ きーd

## 第1問 問7 「7」

正解率	51.5%
SS70～75	92.9%
SS65～70	83.8%
SS60～65	72.6%
SS55～60	66.0%
SS50～55	58.9%
SS45～50	50.3%

2023年度第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試「世界史B」

受験者数: 58,951人  
平均点: 52.5点  
標準偏差: 20.5

## 世界史B

## 第1問 問7 「7」

複数の資料の情報と知識を結びつけて考察する問題で、各学力層で差がついた

## 結果分析

第1問の問7は、初見の複数の資料から情報を読み取り、既存の知識と結びつけて考察する問題で、各学力層で差がつかしました。

ここでは、該当するそれぞれの資料から、フランス革命のロベスピエールに対する批評として考えられることばを推察し、ジャコバン派政権が行ったことの判断が求められました。

## 指導のご提案

知識の整理と習得も大切ですが、これからの2か月あまりのご指導では、資料から読み取った情報と、習った知識を関連づけて考察する力を育成することをお勧めいたします。「資料で何を述べているのか、表しているのか」という視点や、「知識と関連づけて考える」という視点を習得するためにも、資料を用いた実践的な問題演習を重ねることが効果的と考えます。

共通テストでは、文献資料やグラフ・表や地図、また写真や模式図などのさまざまな資料が提示され、そこから情報を読み取り、背景・原因・影響・結果、関連性など、事象相互のつながりに着目し、関連づけて考察する問題が見られます。上記の観点で資料読解をしていくことが、資料の着眼点を見つける力の育成につながります。